

平成29年第27回公安委員会会議概要

開催日 平成29年10月12日(木)

開催場所 熊本県警察本部内公安委員会室

第1 定例会議

各部からの報告

1 平成29年9月熊本県議会定例会の結果について

【報告の要旨】

9月定例県議会が、平成29年9月7日(木)から10月3日(火)までの27日間開催された。

警察関係提出議案等は、

- 平成29年度熊本県一般会計補正予算(第3号)(9月補正)
 - ・ 警察施設アスベスト等対策事業(補正額2,124万円)
 - ・ 振り込め詐欺防止のための総合対策事業(補正額301万9千円)
 - ・ 違法駐車対策業務(債務負担行為の設定1億2,996万1千円)

- 専決処分の報告について

- ・ 公用車交通事故4件の和解

- 公益財団法人熊本県暴力追放運動推進センターの経営状況を説明する書類の提出について

- ・ 平成28年度決算と平成29年度事業計画及び予算に関する報告

であった。

また、本会議での警察関係の質問は、

- スクールサポーター制度と教育委員会との連携
- インターネット利用に係る福祉犯被害の防止対策について
- 特殊詐欺など新たな形態の犯罪への対応について

要望は、

- 熊本北合志警察署設置に伴う山鹿警察署への影響について

であった。

教育警察常任委員会での質問は、

- 振り込め詐欺の現状と未然防止対策について
- サイバー攻撃に対する対応について
- 衆議院の解散、総選挙における県警の対応について

であった。

2 平成29年9月末現在の犯罪認知状況等について

【報告の要旨】

生活安全部から、平成29年9月末現在の犯罪認知状況等についての報告が行われた。

【委員からの質問及び警察からの説明等】

委員から、「特殊詐欺の名称が県民に分かりにくいので名称の変更を検討するよう提言したところ、他県の実態等を詳細に調査、分析し、その結果を総合的に判断して『振り込め詐欺等』に変更するとの説明を受けた。県警の真摯な検討に敬意を表するとともに『振り込め詐欺等』に名称が統一されたことにより、より一層、県民に周知、徹底が図られるのではないかと期待している」旨の発言があった。

3 平成29年9月末現在の刑法犯認知・検挙状況について

【報告の要旨】

刑事部から、平成29年9月末現在の刑法犯認知・検挙状況についての報告が行われた。

【委員からの質問及び警察からの説明等】

委員から、「検挙率がマイナスとなるのはいけないが、刑法犯の認知件数が減少すると母数が減るのだから検挙件数もマイナス傾向になるのではないか」旨の発言があり、警察から、「認知件数が減少すれば、検挙件数は減少する傾向にある。余罪多数の被疑者の検挙が低調なことが検挙率マイナスの要因となっている」旨の説明があった。

4 平成29年9月末現在の交通事故発生状況等について

【報告の要旨】

交通部から、平成29年9月末現在の交通事故発生状況等についての報告が行われた。

【委員からの質問及び警察からの説明等】

委員から、「75歳以上の歩行中の死亡事故が多いということだが、発生時間帯、発生場所はどうなっているのか」旨の発言があり、警察から、「高齢者の歩行中の事故は、かつては昼間が多かったが、現在は、昼夜大差はない。しかしながら、夜間散歩等で外出する高齢者の数が多いことからすると夜間の方が事故に遭う危険性が高い。その対策として歩行者には、反射材の着用や信号を守り横断歩道を渡ることなどを徹底させること。運転者には、ライトの上向き点灯を励行させることが有効であると考えている。発生場所としては、横断歩道以外の道路を横断中に事故に遭うケースが多い」旨の説明があった。

委員から、「高齢者の事故防止対策として目立つ服装、反射材等の着用を推奨しているが、高齢者には派手なのは恥ずかしいとの思いがあるようである。高齢者に抵抗なく反射材を身につけていただけるよう、交通安全ファッションショーを開催したら話題性があるのではないか」旨の発言があり、警察から、「過去に熊本市内の高校の協力を得て、高齢者による反射材ファッションショーを開催したことがある。孫の手作りの服を着れるというアプローチであった。独自にファッションショーを開催するなどしている高校もあるのでこれらとの連携を強化してまいりたい」旨の説明があった。

5 平成29年秋の全国交通安全運動の実施結果について

【報告の要旨】

平成29年秋の全国交通安全運動が9月21日から30日の10日間実施され

たが、その結果は以下のとおりであった。

	平成29年	平成28年	増減数	増減率
発生件数	158件	177件	-19件	-10.7%
死者数	2人	0人	+2人	-
負傷者数	201人	244人	-43人	-17.6%

※ 発生件数、死者数、負傷者数は暫定値

運動期間中の飲酒運転による人身事故の発生状況は、2件（前年同期間比+2件）、死者0人（同±0人）、負傷者3人（同+3人）で、「交通事故死ゼロを目指す日（9月30日（土））」の交通事故死者は、全国で11人、本県は0人であった。

また、9月26日（火）に実施した「全国一斉通学路取締り」における検挙件数は229件（うち通行禁止違反116件）であった。

期間中は、キャンペーンや出発式など、211の広報活動等が実施された。



①サポカーS体感乗車会
(9/24)交通企画課
運転免許課

②飲酒運転根絶の集い
KUMAMOTO
(9/21)市内三署合同

③ 三世代交流
交通安全教室
(9/21)荒尾署

6 「第48回全国白バイ安全運転競技大会」結果について

【報告の要旨】

平成29年10月7日（土）及び翌8日（日）の2日間、茨城県ひたちなか市の自動車安全運転センター安全運転中央研修所において、第48回全国白バイ安全運転競技大会が実施された。本県から3人の選手が出場し、団体第2部8位、個人の種目別（スラローム）において103人中2位の成績であった。

第2 報告・決裁等

1 熊本県道路交通規則の一部改正についての決裁

交通規制課長から説明があり、決裁が行われた。

2 熊本県警察の交番、駐在所及び警備派出所の名称、位置、所管区域又は警備区域（公安委員会告示）の一部改正についての決裁

地域課長から説明があり、決裁が行われた。

3 警察官採用活動に関する報告

警務部参事官から報告が行われた。

4 平成29年第26回定例会会議録の決裁

公安委員会事務室から説明があり、決裁が行われた。

第3 事務連絡

公安委員会事務室から、当面の行事予定について事務連絡が行われた。